

令和5年度 地域活性化活動助成事業
佐賀小学校を、子ども・家庭・地域の集いの場、学びの場に

1 はじめに

本校は、後ろに大星山を背負い、前に瀬戸内海を望む、豊かな自然に囲まれた、全校児童54名の小規模校です。コミュニティ・スクールとして、地域の様々な方々の力をお借りしながら、子どもたちのみんなで育てる教育を推進しています。

2 いってみよう まなんでみよう 佐賀小学校

子どもたちが先生となり、これまで学習してきたことを保護者や地域の方に学んでもらうものです。今年は、体育館で各学年がブースを設けて「授業」を行いました。

1年生：生活科「いろいろなあそびにちょうせん」

生活科の時間に教わった、けん玉、びゅんびゅんごま、だるまおとし、お手玉などの昔の遊びを、保護者や地域の方に遊び方を紹介したり、一緒に遊んだりする時間です。小さい頃を懐かしみながら遊ばれる地域の方や初めて体験する遊びを楽しまれる保護者の方に交じり、こま回しの妙技を披露してくださる地域の方もいらっしゃり、ほほえましい交流が生まれていました。



来校された方からは「昔の遊びの楽しさを改めて感じました。」「ゲームばかりになっている今だからこそ、昔の遊びを伝えることは大事だと思いました。」「けん玉の教え方が上手で、すぐできました。」「地域の方が教えてくださったり、子どもたちが教えてくれたり、知らない遊びがいろいろあることも知れたので良かったです。」「一人一人がよく練習して、分かりやすく説明できるように考えたんだなと思うと感動しました。」「何よりも1年生が来られた人に一生懸命話をして教える姿がとてもよかったです。」といった感想がありました。

遊びを通じた交流のよさを改めて感じることでできたひとときでした。地域の大人に見守られながら子どもが育ち、学校が核となって世代を超えた交流が生まれる、こういう学びの場を、これからも作っていきたいと思います。

2年生：生活科「みんなで作ってかざろう 春のかざり」

折り紙を使って春の飾りを作るコーナーです。壁面には完成したきれいな飾りが展示されており、「作ってみたい!」という気持ちにさせられます。2年生の子どもたちがチューリップの折り方や貼り付け方を丁寧に説明し、保護者や地域の方にたくさん作ってもらうことができました。

来校された方からの感想には「すごく丁寧に教えてくれてうれしかったです。質問にも落ち着いて答えてくれてすてきな時間を過ごせました。」「少人数だけど和やかにやっている姿がうれしかったです。」「接客態度がよかったです。」「みんな違う色、貼り方も違って出来上がった壁を見ると明るい気持ちになりました。楽しめました。」「日頃から花壇の水やりや花がら摘み、草抜きをがんばっている姿を見ていたので、2年生らしいすてきな活動だと思いました。」といったものがありました。



多くの方に来てもらうことで、子どもたちは分かりやすい説明の仕方や、人への接し方を学ぶことができます。コミュニケーション能力を高める上でも大事な活動だと考えています。

3年生：国語「音訓カルタを作って遊ぼう」

カルタ作りのルールは、「ひとつの札の中に漢字の音と訓が入ったカルタを作る」というものでした。文にするのは簡単そうできて意外と難しく、大人も子どもも、知恵をふり絞りながら一生懸命考える姿が印象的でした。出来上がった札を使ってみんなでカルタ取りを楽しみました。

来校された方から「子どもと一緒に考えることができたり、自発的に動いている姿が見れたりしてよかった。」「カルタ作りは脳トレをしているようで楽しかった。」「難しかったけど頭の体操になりました。完成した時の達成感がありました。」「来られる方に積極的に話しかける姿や教えてあげる姿がすごくてかっこよく見えました。」という感想がありました。

国語科では、言葉に関する学習をたくさんしています。漢字の学習というと、漢字の読み書きの練習に目がいきがちですが、文章を書く時に習った漢字を正しく使うことができるかどうかがとても大事です。家庭でも子どもと一緒に楽しみながら漢字に親しみ、言葉の力をつけていってほしいと考えています。



4年生：外国語活動「外国語でショッピング！」

3年生から始まる外国語活動の時間には、ALTの先生にもお世話になりながら、英語を使ったコミュニケーションの方法を学んでいます。今回、4年生の子どもたちは、これまでに学習してきた買い物のに使う英語表現を体験できるブースを担当しました。

来校された方からの感想です。「みなさんがはきはきと英語を話していました。発音もよくてすごいと思いました。」「英語でのお買い物で国際化に向けての一步。英語を使うことを臆することなく声に出してほしいと思いました。」「英語が上手でびっくりしました。ガイドがあって見に行く側もどうい会話をしたらよいか分かりやすかったです。」

「英語でコミュニケーションをとることへのハードルが下がったように感じました。とても楽しかったです。」

小学校においても外国語による、聞く・読む・話す・書くなどの言語活動を通して、コミュニケーション力を育てていくことが求められています。このような機会に今の子どもたちの学びの姿を知ってもらおうと同時に、保護者や地域の方にとっても新鮮な学びの場になるようにしていきたいです。



5・6年生：総合的な学習「レッツ トライ プログラミング！～mBot を動かそう！～」

5・6年生は、プログラミング体験をしてもらうブースを担当しました。保護者や地域の方々に、今の新しい学びを体験してもらうことは、「まなんでみよう 佐賀小学校」の取組の大きなねらいの1つです。子どもたちは、来られた方に楽しんで mBot を操作してもらおうと、丁寧にプログラミングの仕方を説明していました。



来校された方は「タブレットを使ってロボットが動かせるということが知れてよかった。すごい！」「子どもたちは上手に使っていてすごいなと思った。」「段ボールや箱で障害物を作って操作の難しさや楽しさを感じられるように工夫していて面白かった。」「大人や下級生への説明はもちろん、小さな子どもたちへの対応がとても微笑ましくてその姿に癒されました。」といった感想をもたれていました。

5・6年生の感想を読むと、「こんなことができるなんてすごいね、と言ってもらえてうれしかった。」「多くの方に喜んでもらえて、準備をしてきてよかった。」と書いていた子どもがたくさんいました。自分たちが学んできたことを通して、人とふれあうことの楽しさ、伝えることの喜び、そして練習の成果を発揮できた達成感を感じることができたようです。

3 おわりに

地域活性化事業として、家庭・地域の方々が学校を「集いの場」として交流することで、子どもも含めた「学びの場」としての機能を果たすことができたと考えています。今後も「学校を核とした地域づくり」の一環として、取組を推進していきたいです。